

## 常葉大学法学部の授業で自衛隊を講義



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之<sup>1</sup>等陸佐）は、5月24日（水）、常葉大学法学部（静岡市）において、「刑法<sup>1</sup>」の課題に講師として同地本募集課長・原田範朗<sup>2</sup>等空佐が招かれ講義を行った。

これは、昨年に引き続き実施されたもので、募集相談員として活動している同校法学部長・細川壯平教授から「学生の国防に対する認識の深化と自衛隊への更なる理解を図るため、我が国周辺の情勢と防衛政策について講義して欲しい」との依頼があり、実現したものの。

原田<sup>2</sup>佐は、同学部の1年生約180人に対して「我が国周辺の安全保障環境及び自衛隊の役割について」と題し、自衛隊の活動内容や周辺諸国の情勢等を、今までの勤務経験を交えつつ、スクリーンで写真等を使いながら学生にも分かりやすく説明した。

また、募集課長による講義のほか、「大卒自衛官のキャリアプラン」として、地本に勤務する大卒自衛官が自身の入隊種目と経緯、自衛隊生活で得た知識や経験を紹介した。

静岡地本は、今後も県内の各学校と連携してさまざまな機会を捉え、学生に自衛隊の魅力伝え、自衛隊の各種活動を正しく伝え防衛に対する理解促進に努めていく。

## ヘリ体験搭乗「美しい日本を上空から」



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之<sup>1</sup>等陸佐）は、5月27日（土）、滝ヶ原場外離着陸場（御殿場市）において、陸上自衛隊東部方面ヘリコプター隊（立川駐屯地）・教育支援飛行隊（滝ヶ原駐屯地）等の支援を受け、「UH-1J型ヘリコプター」の体験搭乗を実施した。これは、自衛隊に関心のある若者や協力者等を対象に行われ、県内各地から50人が参加した。

まず、参加者は富士山が鮮やかに見える晴天の下、搭乗するヘリの前で機体の説明や安全教育を受けるとともに、普段乗ることのない自衛隊のヘリコプターと各々記念撮影等を行った。その後、誘導員の指示のもと2機のヘリコプターにグループごと乗込むと、雪解けの富士山を目の前に、日本の大動脈である東名高速道路を眼下に見ながら、御殿場市上空の高度3000フィート（900メートル以上）を約10分間体験飛行した。

また、偶然にも同離着陸場で陸自部隊が実施していた、ロープを使って高所から降下する「リペリング訓練」を間近で見学することができ、陸上自衛隊の精強さを目の当たりにした見学者からは歓声があがっていた。

静岡地本は、今後もこのような自衛隊を体感出来る機会を積極的に活用し、自衛官という仕事の魅力をより深く知ってもらうとともに、自衛隊に対する協力基盤の強化と自衛官を目指す若者達の拡充に努めていく。